



# 生態系保全や植栽による地域活性化

わじ はままつ  
和地地区環境保全対策協議会（静岡県浜松市）

○当組織は、以前は浜松市郊外ののどかな農村地帯だったが、近年工業団地の進出等により宅地開発が進むことで混住化が進行している。

「昔の豊かな自然を取り戻す」を合い言葉に平成19年に組織が設立され、活動を開始した結果、今では地域住民の地元への愛着が芽生え、農村環境に対する地域の関心の高まりとともに、各種活動を通じて地域活性化が図られている。

## 【地区の概要】

- ・取組面積：292ha  
(田30ha、畑262ha)
  - ・資源量：開水路 104.5km  
農道 98.3km
  - ・構成員：自治会、学校法人等
  - ・交付金：約15百万円
- 農地維持支払  
資源向上支払(共同活動、長寿命化)

## 活動開始前の状況や課題

○従来から地域全体で水路の泥上げや草刈りに取組んでいたが、近年、地域の高齢化や担い手不足等により耕作放棄地が増加し、農村環境の悪化が懸念されていた。



機械による  
草刈り風景



草刈り風景

## 取組内容



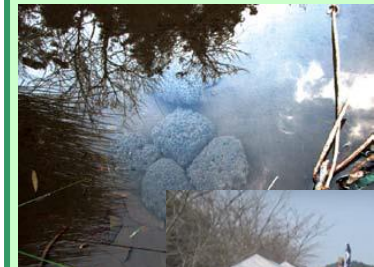
ビオトープ



地域を彩る花

- 遊休農地を活用してビオトープを設置し、生態系の保全を図っている。
- 毎年約5万株の花苗を栽培し、遊休農地だけでなく沿道等にも植栽を実施。

## 活動の効果



ニホンアカ  
ガエルの卵



河津桜まつり

- ホタルやニホンアカガエルを保全した結果「蛍の里」として観光スポットになっている。
- 植樹した河津桜をメインに地元農産物も販売する「河津桜まつり」を実施し地域外も含めて約5万人の来場がある。